

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年11月28日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【淡水化処理装置濃縮水貯槽14用の多核種除去設備移送弁の「開」固着について】 淡水化処理装置濃縮水貯槽14用の多核種除去設備移送弁の「開」固着により、全閉できないことを確認。 なお、当該弁の前後の弁にて閉操作が可能のため機能上問題のないことを確認。 今後、弁点検を行う予定。</p>	GⅢ	11月19日
2	<p>【多核種除去設備処理水貯槽12(J1-E4)の水位計信号取り込み不良警報発生について】 多核種除去設備処理水貯槽12(J1-E4)の水位計信号取り込み不良を起因とした「J1-E4入力不良」警報発生を確認。 隣接する貯槽との連結弁を開くことで水位の監視が可能。また、異常のないことを確認済。 今後、原因調査および対策を検討予定。</p>	GⅢ	11月22日
3	<p>【雑固体廃棄物焼却設備A系における「投入ホッパーA制御盤ユニット異常」警報の発生について】 雑固体廃棄物焼却設備A系の運転中に「投入ホッパーA制御盤ユニット異常」の警報発生を確認。 当該警報は、焼却炉の投入ホッパーの設定荷重(24kg)を超過した際に発報する回路構成となっていることから原因は、投入ホッパーに廃棄物を投入した際の衝撃で瞬間的に設定荷重を超過したものと推定。 なお、警報発生により廃棄物の投入工程は停止するが、焼却炉の運転には影響がないことを確認。 今後、原因調査および対策を検討予定。</p>	GⅢ	11月24日
4	<p>【雑固体廃棄物焼却設備B系における「投入ホッパーB制御盤ユニット異常」警報の発生について】 雑固体廃棄物焼却設備B系の運転中に「投入ホッパーB制御盤ユニット異常」の警報発生を確認。 当該警報は、焼却炉の投入ホッパーの設定荷重(24kg)を超過した際に発報する回路構成となっていることから原因は、投入ホッパーに廃棄物を投入した際の衝撃で瞬間的に設定荷重を超過したものと推定。 なお、警報発生により廃棄物の投入工程は停止するが、焼却炉の運転には影響がないことを確認。 今後、原因調査および対策を検討予定。</p>	GⅢ	11月25日
5	<p>【1/2号機 排気筒解体工事に伴う遠隔操作車両の不具合について】 1/2号機 排気筒解体工事に伴う、遠隔操作車両の不具合を確認。 状況確認の結果、鉄塔解体装置入電作業中に遠隔操作車両のエンジンを始動したところ、車両が突然前進し、ブレーキ、サイドブレーキ、クラッチは効かず、エンジンを停止させて車両を停止。 原因は、遠隔操作車両の電気系統故障およびマグネットクラッチの故障と推定。 今後、次のように運用の見直しをする。 ①遠隔操作車両の照明、エアコン用電源を専用の発電機より受電する。 ②エンジンが始動できないように、バッテリーのターミナルケーブルを外す。 ③車止めを一か所設置から全車輪に設置にする。</p>	GⅢ	11月22日